

12

千代田区景観まちづくり重要物件

東方学会本館

指定日 2003（平成 15）年 6 月 9 日

所在地 西神田二丁目 4 番 1 号

設計者 不詳

竣工 1926（大正 15）年頃

文化財等
指定状況

-



▲交差点から見た様子

歴史・文化的特徴

東方学会は、1947（昭和 22）年、外務省所管により、日本の東方文化の学術的研究の発達、東方諸国の文化の進展および国際文化の交流を目的として設立されました。

建物の由来等は不詳です。鉄筋コンクリート 3 階建てのビルで、4 階が増築されています。

意匠・構造の特徴

鉄筋コンクリート造モルタル塗仕上げの簡素な建物で、中央入口を階段室とし、中廊下で教室をレイアウトした学校建築のようです。下側にカーブを持たせた窓庇兼用の窓台と、同様の形状の屋根庇が水平線を強調しており、入口の半円アーチ以外は非常にプレーンな、機能本位のモダニズム建築となっています。

現在、当建築物の耐震補強、外壁修繕及び増築棟（共同住宅）の建築計画が進行中です（2023（令和 5）年 3 月竣工予定）。

外壁の修繕は、下地調査を経て竣工当時の色彩の再現を目指すとともに、設備機器の集約と修景など、建物の保存と価値を高めることで街並み景観の向上に寄与するプランが想定されています。

周辺景観との関係

建て替えが進む中、旧態を良く維持し、震災後の実質本位だった時代の雰囲気을伝えています。